

平成23年度私立大学フォーラム  
 グランドテーマ:「教育立国」日本の再構築

日本の学部学生の約8割が学ぶ私立大学は、日本の高等教育の基盤を担っている。それぞれの私立大学は、建学の精神のもと、地域の人材養成を担い、また日本の国際的地位向上に努める教育・研究に携わるなど、幅広い社会の負託に応えるべく独自の活動を繰り広げてきた。しかしながら、昨今、高等教育を取り巻く環境は、急激に変化し、ユニバーサル化、グローバル化、社会情勢の多様化等への対応が求められている。さらに3月11日に発生した東日本大震災からの日本の復興・再生を考えると、私立大学全体がミッションを共有し、各大学の個性・特色が有効に発揮できる仕組みを考える必要がある。本年度の私立大学フォーラムでは、「『教育立国』日本の再構築」のグランドテーマを掲げ、危機的状況の日本で私立大学がどのような役割を果たすべきかについて、様々な視点から議論し、これからの私立大学のあり方を提示する。

日時	9月17日(土)	10月1日(土)	10月29日(土)	11月19日(土)
都市	東京都中央区	愛知県名古屋市	福岡県福岡市	大阪府吹田市
会場	八重洲富士屋ホテル	中京大学・名古屋キャンパス412教室	福岡大学メディカルホール	関西大学・千里山キャンパス 千里ホールA
テーマ	“教育立国”日本を支える私立大学	私立大学の挑戦-教育・研究の充実をめざして	私立大学に求められるこれからの学生支援	日本の持続的発展を支える私立大学のあり方
開催趣旨	<p>私立大学はわが国の高等教育の充実・発展に寄与し、社会に大きな貢献を果たしてきた。近年、高等教育を取り巻く環境が大きく変化するなかで、今後、私立大学はこれまでの歴史で築いてきた基盤を元にわが国の持続的発展と復興・再生に向けて、さらなる大学の機能向上に努めていくことが必要である。</p> <p>そこで、第1回東京会場では、これまでに私立大学が担ってきた役割・機能を踏まえ、グローバル化、ボーダレス化が進む国際社会のなかで、私立大学が新たに担うこととは何かを多角的に議論する。そして、“教育立国”日本を支える私立大学がそれぞれの建学の精神を基に、特色・個性を活かした新たな取り組みとは何かを模索するとともに、有意義な意見交換と人的ネットワーク形成の場としたい。</p>	<p>私立大学は建学の精神を基に、個性ある教育・研究を展開し、日本をはじめ国際社会で活躍する人材の輩出と日本社会に多様性をもたらした。私立大学が培ってきた知的資源は、日本全体の国力の向上とともに、地域社会の活性化の源泉になったといえよう。</p> <p>いま、日本の高等教育は、教育の質保証、グローバル化など多くの課題に直面し、大学教育・研究のあり方が問われている。私立大学はこれまでの機能を果たし続けていくために、社会のニーズを踏まえた教育・研究を提供するとともに、近年、多様化する学生が主体的に学ぶ仕掛けを考え、教育・研究の機能を一層向上させることが必要である。</p> <p>そこで、第2回名古屋会場では、大学、企業、地域社会、国際化の視点から高等教育の基盤を担う私立大学が今後どのような教育・研究を展開し、社会貢献と人材養成を担うべきかを模索する機会としたい。</p>	<p>ユニバーサル段階を迎えたわが国の大学では、学生の多様化にともない、修学上の支援はいつまでもなく、経済的な支援やキャリア形成支援など、幅広い学生支援が求められるようになり、大学が取り組むべき支援の内容は拡大の一途をたどっている。さらに今回の大震災被災者への対応など、私立大学が果たすべき学生支援の役割は極めて大きい。</p> <p>私大連盟では、加盟大学に在籍する学部学生に対し、4年に一度「学生生活実態調査」を実施している。この調査は学生の生活状況を調査し、経済状況等の経年変化の把握、学生生活の実態から学生支援のヒントを見出すための参考資料として活用されている。そこで、第3回福岡会場では、昨年度実施した同調査結果を踏まえながら、主に 学生生活支援、キャリア形成支援、多様な学生への修学支援、の3つの視点から基調報告、意見発表をいただき、私立大学に求められるこれからの学生支援について、討議、意見交換を行う。</p>	<p>私立大学は地域社会の拠点となり、地域社会の活性化の推進を担う極めて重要な社会基盤の形成を果たしてきた。また、今年3月11日に発生した東日本大震災では、様々な大学が地域の拠点となり、地域の情報を集約・共有し、支援を必要とする人とボランティアをつなぐ取り組みが展開された。</p> <p>私立大学は、わが国の復興・再生のために、日本社会の持続的発展をどのように支えていくのかを考えることが喫緊の課題となっている。そこで、第4回大阪会場では、私立大学がこれまでに蓄積してきた知的・人的資源の重要性を改めて認識し、これからの私立大学のあり方を考える。また、私立大学が地域社会、企業との繋がりを一層強化するためにどのような意識をもって連携を図っていけばよいのかを討議する機会とする。</p>
講師・パネリスト	<p>【基調報告】 清家 篤  私大連盟会長、慶應義塾長</p> <p>【意見発表】 ・藤原 章夫 文部科学省高等教育局大学振興課長 ・忠津 剛光 ㈱大丸松坂屋百貨店業務本部人事部長 ・白井 克彦 私大団体連合会私立大学21世紀委員会委員長、放送大学学園理事長、早稲田大学学事顧問</p>	<p>【基調報告】 ミカエル・カルマノ 南山大学学長</p> <p>【意見発表】 ・白石 直之 ㈱ノリタケカンパニーリミテド人事部長 ・水野 晶夫 名古屋学院大学経済学部教授 ・内田 裕久 東海大学理事・工学部教授</p>	<p>【基調報告】 松尾 哲矢 私大連盟学生生活実態調査分科会長、立教大学コミュニティ福祉学部長</p> <p>【意見発表】 ・増田 祐志 上智大学学生総務担当副学長 ・安田 俊一 松山大学副学長 ・辻 恵介 武蔵野大学人間関係学部教授</p>	<p>【特別基調講演】 入江 誠 ダイハツ工業株式会社執行役員</p> <p>【意見発表】 ・井上 琢智 関西学院大学学長 ・渡邊 幸義 ㈱アイエスエフネット代表取締役社長 ・若月 昇 石巻専修大学大学開放センター長、理工学部教授</p>
司会 コーディネーター	新井 泰彦(関西大学学長補佐)	山田 眞實(同志社大学言語文化研究センター教授)	今野 孝(福岡大学商学部教授)	新井 泰彦(関西大学学長補佐)
申込期限	募集終了	募集終了	10月21日(金)	11月11日(金)



日本私立大学連盟

## 「教育立国」日本の再構築

平成23年度 私立大学フォーラム（第1回：東京会場）

### 「『教育立国』日本を支える私立大学」

#### 平成23年度 私大フォーラムの開催目的

日本の学部学生の約8割が学ぶ私立大学は、日本の高等教育の基盤を担っている。それぞれの私立大学は、建学の精神のもと、地域の人材養成を担い、また日本の国際的地位向上に努める教育・研究に携わるなど、幅広い社会の負託に応えるべく独自の活動を繰り広げてきた。しかしながら、昨今、高等教育を取り巻く環境は、急激に変化し、ユニバーサル化、グローバル化、社会情勢の多様化等への対応が求められている。さらに3月11日に発生した東日本大震災からの日本の復興・再生を考えると、私立大学全体がミッションを共有し、各大学の個性・特色が有効に発揮できる仕組みを考える必要がある。

本年度の私立大学フォーラムでは、「『教育立国』日本の再構築」のグランドテーマを掲げ、危機的状況の日本で私立大学がどのような役割を果たすべきかについて、様々な視点から議論し、これからの私立大学のあり方を提示する。

#### 「『教育立国』日本を支える私立大学」（第1回：東京会場）開催趣旨

私立大学はわが国の高等教育の充実・発展に寄与し、社会に大きな貢献を果たしてきた。近年、高等教育を取り巻く環境が大きく変化するなかで、今後、私立大学はこれまでの歴史で築いてきた基盤を元にわが国の持続的発展と復興・再生に向けて、さらなる大学の機能向上に努めていくことが必要である。

そこで、第1回東京会場では、これまでに私立大学が担ってきた役割・機能を踏まえ、グローバル化、ボーダレス化が進む国際社会のなかで、私立大学が新たに担うこととは何かを多角的に議論する。そして、「教育立国」日本を支える私立大学がそれぞれの建学の精神を基に、特色・個性を活かした新たな取り組みとは何かを模索するとともに、有意義な意見交換と人的ネットワーク形成の場としたい。

開催日時： 平成23年9月17日（土）【受付】12:30～

【基調報告・意見発表・ディスカッション】 13:00～17:00

【名刺交換会】17:10～

会場： 八重洲富士屋ホテル 2階「桜」 最終頁参照

所在地： 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-9-1

電話： 03-3273-2111

参加対象： 加盟大学教職員、国公私立大学関係者 等

参加費： 無料

参加申込期限：平成23年9月9日（金）

（フォーラムに関するお問い合わせ先： 社団法人日本私立大学連盟 企画政策担当  
電話番号：03-3262-4362 メールアドレス：forum11@shidaiaren.or.jp）

## ・テーマ 「『教育立国』日本を支える私立大学」

### ・運営方法

司会・コーディネーター

新井泰彦（広報・情報部門会議（フォーラム）委員長、関西大学学長補佐）

#### 1．基調報告

「高等教育の基盤を担う私立大学のこれからの役割とは（仮題）」

講師：清家篤氏（私大連盟会長、慶應義塾長）

日本経済・社会が大きく変動するなかで、高等教育を取り巻く環境はますます厳しさを増しています。私大連盟会長の立場から、今後、私立大学が担うべき役割とは何か、強化すべきこととは何か、そして、それを具体化するためには私立大学の特色や多様性をどのように活かしていくべきかなど、私立大学の向かうべき方向性についてご講演いただきます。

#### 2．意見発表

「高等教育の動向について（仮題）」

講師・パネリスト：藤原章夫氏（文部科学省高等教育局大学振興課長）

文部科学省では教育立国日本の実現に向けた政策が進められています。高等教育をとりまく最新動向をご紹介いただきながら、GP事業などによる国公私立大学を通じた大学教育改革の支援の現状、課題、今後の展望等について、ご報告いただきます。

「私立大学に期待する役割と機能 - 企業の視点から（仮題）」

講師・パネリスト：忠津剛光氏（株式会社大丸松坂屋百貨店 業務本部人事部部長）

私立大学は、建学の理念・精神のもと、個性豊かな人材を継続的に社会へ輩出しています。時代のニーズに即した高質な商品やサービスを提供し、成長をつづけられている(株)大丸松坂屋百貨店では、多種多彩な職種の方々が活躍されており、そこで実際に社員採用・人材育成を担当している人事部長のお立場から、これからの日本の発展に必要とされる人材をどのようにして育成していけばよいのか、私立大学の役割についてご意見をいただきます。

「21世紀社会の持続的発展を支える私立大学（仮題）」

講師・パネリスト：

白井克彦氏（日本私立大学団体連合会私立大学21世紀委員会委員長、放送大学学園理事長、早稲田大学学事顧問）

今年6月に私大団連では、私立大学の将来像についての提言「21世紀社会の持続的発展を支える私立大学 - 「教育立国」日本の再構築のために - 】【10の提言】をとりまとめました。そこで、白井委員長から、同提言の詳細についてご報告いただくとともに、私立大学を基幹とする高等教育政策のパラダイムシフト実現の必要性についてご意見をいただきます。

#### 3．ディスカッション

パネリストの意見発表の内容について、パネリスト間、パネリストと参加者で意見交換を行います。

## . スケジュール (予定)

時間帯	分	プログラム等	
12:30 ~ 13:00	30	受 付	
13:00 ~ 13:05	5	開会挨拶	
13:05 ~ 14:05	60	基調報告	「高等教育の基盤を担う私立大学のこれからの役割とは(仮題)」 清家 篤(私大連盟会長、慶應義塾長)
14:05 ~ 14:15	10	小休憩	
14:15 ~ 14:45	30	意見発表	「高等教育の動向について(仮題)」 藤原 章夫 氏(文部科学省高等教育局大学振興課長)
14:45 ~ 15:15	30		「私立大学に期待する役割と機能 - 企業視点から(仮題)」 忠津 剛光 氏(株式会社大丸松坂屋百貨店 業務本部人事部部长)
15:15 ~ 15:45	30		「21世紀社会の持続的発展を支える私立大学(仮題)」 白井 克彦 氏(私大団体連合会私立大学21世紀委員会委員長、放送大学学團理事長、早稲田大学学事顧問)
15:45 ~ 16:00	15	コーヒープレイク	
16:00 ~ 17:00	60	ディスカッション	
	10	移 動	
17:10 ~ 18:10	60	名刺交換会(3階「赤松」)	

## 会場への交通案内：八重洲富士屋ホテル

JR 東京駅八重洲南口より徒歩 5 分

JR <京葉線> 東京駅(2 番出口)より徒歩 2 分

JR 有楽町駅(京橋口)より徒歩 3 分

東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅(3 番出口)より徒歩 2 分

東京メトロ銀座線 京橋駅(3 番出口)より徒歩 3 分

京橋駅 3 番出口は平成 23 年 6 月 20 日から平成 25 年 3 月末日(予定)まで 閉鎖されます。  
京橋駅からお越しの方は、1 番または 5 番出口をご利用ください。

東京メトロ丸の内線・日比谷線 銀座駅(C9 出口)より徒歩 6 分

東京メトロ千代田線 二重橋前駅(1 番出口)より徒歩 6 分

地下鉄都営浅草線 宝町駅(A4 出口)より徒歩 6 分

地下鉄都営三田線 日比谷駅(B7 出口)より徒歩 8 分

リムジンバス ホテル前より運行(ホテル 成田空港)約 90 分

八重洲富士屋ホテル

住所:東京都中央区八重洲 2-9-1 TEL:03(3273)2111 (代)





## 「教育立国」日本の再構築

平成23年度 私立大学フォーラム（第2回名古屋会場）

### 「私立大学の挑戦-教育・研究の充実をめざして-」

#### 平成23年度 私大フォーラムの開催目的

日本の学部学生の8割が学ぶ私立大学は、日本の高等教育の基盤を担っている。それぞれの私立大学は、建学の精神のもと、地域の人材養成を担い、日本の国際的地位向上に努める教育・研究に携わるなど、幅広い社会の負託に応えるべく独自の活動を繰り広げてきた。しかしながら、昨今、高等教育を取り巻く環境は、急激に変化し、ユニバーサル化、グローバル化、社会情勢の多様化等への対応が求められている。さらに3月11日に発生した大震災から日本の復興・再生を考えると、私立大学全体がミッションを共有し、各大学の個性・特色が有効に発揮できる仕組みを考える必要がある。

本年度の私立大学フォーラムでは、「『教育立国』日本の再構築」を考えるとともに、危機的状況の日本で私立大学がどのような役割を果たすべきか、様々な視点から議論し、これからの私立大学のあり方を提示する。

#### 第2回「私立大学の挑戦 - 教育・研究の充実をめざして - 」開催趣旨

私立大学は建学の精神を基に、個性ある教育・研究を展開し、日本をはじめ国際社会で活躍する人材の輩出と日本社会に多様性をもたらした。私立大学が培ってきた知的資源は、日本全体の国力の向上とともに、地域社会の活性化の源泉になったといえよう。

いま、日本の高等教育は、教育の質保証、グローバル化など多くの課題に直面し、大学教育・研究のあり方が問われている。私立大学はこれまでの機能を果たし続けていくために、社会のニーズを踏まえた教育・研究を提供するとともに、近年、多様化する学生が主体的に学ぶ仕掛けを考え、教育・研究の機能を一層向上させることが必要である。

そこで、第2回名古屋会場では、大学、企業、地域社会、国際化の視点から高等教育の基盤を担う私立大学が今後どのような教育・研究を展開し、社会貢献と人材育成を担うべきかを模索する機会とした。

開催日時： 平成23年10月1日(土)【受付】12:30～

【基調報告・意見発表・ディスカッション】 13:00～17:00

【名刺交換会】17:10～

会場： 中京大学 名古屋キャンパス 4号館1F「412教室」 最終頁参照

所在地： 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2

会場には駐車場がありませんので、公共交通機関にてご来場ください。

参加対象： 加盟大学教職員、国公私立大学関係者 等

参加費： 無料

参加申込期日：平成23年9月22日(木)

【フォーラムに関するお問い合わせ先： 社団法人日本私立大学連盟 企画政策担当】

電話番号：03-3262-4362 メールアドレス：forum11@shidai ren.or.jp

## ・テーマ 「私立大学の挑戦 - 教育・研究の充実をめざして - 」

### ・運営方法

司 会・コーディネーター

山 田 眞 實 (広報・情報部門会議(フォーラム)委員、同志社大学言語文化研究センター教授)

#### 1. 基調報告

「有能な人材を世界に送り出す南山大学の試み(仮題)」

講師：ミカエル・カルマノ氏(南山大学学長)

南山大学では大学の将来像として「世界で選ばれる大学」、「世界に人材を輩出できる大学」を掲げ、「英語教育センター」を整備するなど、「語学の南山」として社会から高い評価を受けています。そこで、将来像に向けた南山大学の取り組みをご紹介していただき、今後、各大学が日本をはじめ、世界から信頼を得るためにどのような教育・研究を展開すべきか、お考えを発表いただきます。

#### 2. 意見発表

「企業が求める大学の教育・研究とは(仮題)」

講師・パネリスト：白石直之氏(株式会社ノリタケカンパニーリミテド 人事部長)

(株)ノリタケカンパニーリミテドは、洋食器の製造をはじめ、自動車・鉄鋼などの基幹産業やエネルギーやエレクトロニクスなど、幅広い分野に製品や技術を提供され、また、輸出を通じて海外と深く関わり、各国に営業や製造の拠点をもって活動されています。厳しい雇用情勢が続く今日、社会に出る直前の教育機関としての大学の責任は大きく、グローバルな視点をもって社会で活躍できる人材を送り出すためには、どのような教育を身につけておく必要があるのか、採用する企業側のご意見をいただきます。

「大学教育からまちづくりの活性化を考える 名古屋学院大学の取り組みから(仮題)」

講師・パネリスト：水野晶夫氏(名古屋学院大学経済学部教授)

名古屋学院大学では新キャンパス近隣の日比野商店街や熱田区と連携して、まちづくり活動を進めており、2007年度文部科学省現代GPに「地域創成プログラムの実践」として選定されました。そこで、この活動の推進者であり、カリキュラム化に踏み切った水野先生から活動概要をご紹介します。また、この教育の学びが学生にどのような成長を与えているのかご意見をいただき、地域連携を通じた大学教育の可能性を考えます。

「産学官連携が研究と教育に及ぼす効果とは(仮題)」

講師・パネリスト：内田裕久氏(東海大学理事・工学部教授)

私立大学は限られた施設、研究費、人的資源のなかでどのように研究力強化を進めていくかが課題になっています。そこで、私立大学の個性を産学官連携に活かして、社会の多様な要請に応えることが研究力強化、学生教育の充実につながるという持論をお持ちの内田先生から産学官連携が研究と教育に及ぼす効果についてご意見をいただきます。

### 3. ディスカッション

基調報告、意見発表の内容について、パネリスト間、パネリストと参加者で意見交換を行います。

#### . スケジュール

時間帯	分	プログラム等	
12:30～13:00	30	受 付	
13:00～13:05	5	開会挨拶	
13:05～14:05	60	基調報告	「有能な人材を世界に送り出す南山大学の試み（仮題）」 ミカエル・カルマノ 氏（南山大学学長）
14:05～14:15	10	小休憩	
14:15～14:45	30	意見発表	「企業が求める大学の教育・研究とは（仮題）」 白石 直之 氏（株式会社ノリタケカンパニーリミテド 人事部長）
14:45～15:15	30		「大学教育からまちづくりの活性化を考える 名古屋学院大学の取り組みから（仮題）」 水野 晶夫 氏（名古屋学院大学経済学部教授）
15:15～15:45	30		「産学官連携が研究と教育に及ぼす効果とは（仮題）」 内田 裕久氏（東海大学理事・工学部教授）
15:45～16:05	20	コーヒープレイク	
16:05～17:00	55	ディスカッション	
	10	移 動	
17:10～18:10	60	名刺交換会（ガレリア）	

## 会場への交通案内：中京大学名古屋キャンパス



会場には駐車場がありませんので、公共交通機関にてご来場下さい。

## 名古屋キャンパスマップ



- |                     |                  |                                      |
|---------------------|------------------|--------------------------------------|
| ① 0号館(センタービル)       | ⑦ 7号館(教室棟)       | ⑭ 14号館(研究棟・文国際英語<br>国際教養 総合政策 経済 経営) |
| ② 2号館(教室棟)          | ⑧ 8号館(教室棟)       | ⑮ 15号館(会議棟)                          |
| ③-1 3号館(教室棟)        | ⑨-1 9号館(研究棟・法学部) | ⑯ 16号館(アネックス)                        |
| ③-2 3号館別館(研究棟・心理学部) | ⑨-2 9号館(教室棟)     | Ⓐ 正門                                 |
| ④-1 4号館中館(教室棟)      | ⑩ 10号館(体育館)      | Ⓑ 西門                                 |
| ④-2 4号館西館(教室棟)      | ⑫ 12号館(体育館)      | Ⓒ ガレリア                               |
| ⑤ 5号館(教室棟)          | ⑬ 13号館           | Ⓓ クラブハウス                             |
| ⑥ 6号館(図書館・事務局)      |                  |                                      |



## 「教育立国」日本の再構築

平成23年度 私立大学フォーラム（第3回福岡会場）

### 「私立大学に求められるこれからの学生支援」

#### 平成23年度 私大フォーラムの開催目的

日本の学部学生の約8割が学ぶ私立大学は、日本の高等教育の基盤を担っている。それぞれの私立大学は、建学の精神のもと、地域の人材養成を担い、また日本の国際的地位向上に努める教育・研究に携わるなど、幅広い社会の負託に応えるべく独自の活動を繰り広げてきた。しかしながら、昨今、高等教育を取り巻く環境は、急激に変化し、ユニバーサル化、グローバル化、社会情勢の多様化等への対応が求められている。さらに3月11日に発生した東日本大震災からの日本の復興・再生を考えると、私立大学全体がミッションを共有し、各大学の個性・特色が有効に発揮できる仕組みを考える必要がある。

本年度の私立大学フォーラムでは、「『教育立国』日本の再構築」のグランドテーマを掲げ、危機的状況の日本で私立大学がどのような役割を果たすべきかについて、様々な視点から議論し、これからの私立大学のあり方を提示する。

#### 「私立大学に求められるこれからの学生支援」（第3回福岡会場）開催趣旨

ユニバーサル段階を迎えたわが国の大学では、学生の多様化にともない、修学上の支援はいうまでもなく、経済的な支援やキャリア形成支援など、幅広い学生支援が求められるようになり、大学が取り組むべき支援の内容は拡大の一途をたどっている。さらに今回の大震災被災者への対応など、私立大学が果たすべき学生支援の役割は極めて大きい。

私大連盟では、加盟大学に在籍する学部学生に対し、4年に一度「学生生活実態調査」を実施している。この調査は学生の生活状況を調査し、経済状況等の経年変化の把握、学生生活の実態から学生支援のヒントを見出すための参考資料として活用されている。そこで、第3回福岡会場では、昨年度実施した同調査結果を踏まえながら、主に 学生生活支援、キャリア形成支援、多様な学生への修学支援、の3つの視点から基調報告、意見発表をいただき、私立大学に求められるこれからの学生支援について、討議、意見交換を行う。

**開催日時：** 平成23年10月29日（土）【受付】12:30～

**【基調報告・意見発表・ディスカッション】** 13:00～17:30

**会場：** 福岡大学病院 福大メディカルホール（福岡大学病院新診療棟） 最終頁参照

**所在地：** 〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1

車で来学の場合、駐車場は福岡大学病院の有料駐車場、または福岡大学正門内の職員駐車場をご利用ください。

**参加対象：** 加盟大学教職員、国公私立大学関係者 等

**参加費：** 無料

**参加申込期日：** 平成23年10月21日（金）

（フォーラムに関するお問い合わせ先： 社団法人日本私立大学連盟 企画政策担当

電話番号：03-3262-4362 メールアドレス：forum11@shidaiaren.or.jp

## ・テーマ 「私立大学に求められるこれからの学生支援」

### ・運営方法

司 会・コーディネーター

今 野 孝（広報・情報部門会議（フォーラム）委員、福岡大学商学部教授）

#### 1．基調報告

「学生の傾向から見たこれからの学生支援 - 第13回学生生活実態調査から（仮題）」

講師：松 尾 哲 矢 氏（私大連盟学生生活実態調査分科会長・立教大学コミュニティ福祉学部長）

私大連盟では、加盟大学に在籍する学生に対し、4年に一度「学生生活実態調査」を実施しています。学生生活実態調査分科会長の松尾先生から平成22年10月に実施した学生生活実態調査の結果から読み取れる学生の気質や取り巻く環境、およびその変化などの分析結果をご報告いただき、私立大学が対応すべきこれからの学生支援についてご講演をいただきます。

#### 2．意見発表

「社会情勢を反映した経済支援 上智大学の奨学金制度（仮題）」

講師・パネリスト：増 田 祐 志 氏（上智大学学生総務担当副学長）

上智大学では、経済支援を目的とした独自の給付型奨学金制度を数多く持っており、個々の学生の状況を把握し、より適正な奨学金の選考を目指しています。そこで、学生の状況をどのように把握し、適切な支援を行っているのか、その仕組みをご紹介します。また、震災等による日本経済の状況を踏まえ、今後、各大学独自で経済支援策の拡充が必要なのかご意見をいただきます。

「学生の成長を促す人材育成をめざして キャリア教育の推進(仮題)」

講師・パネリスト：安 田 俊 一 氏（松山大学副学長）

松山大学は経済産業省「社会人基礎力」モデル校として、学生・教員が地域産業・企業と連携して、地域活性化を推進するとともに、学生の実用的知識の修得や社会人に向けた成長を促進しています。また、これまでのキャリア教育に関する様々な取り組みを踏まえ、2011年度から教職協働のキャリア教育の再構築に向けた検討を副学長中心に進めています。そこで、安田先生から地域社会に密着したキャリア教育のご紹介をはじめ、4年間の学生の成長についてご報告いただきます。

「充実した大学生活を送るために 発達障害学生に対する修学支援（仮題）」

講師・パネリスト：辻 恵 介 氏（武蔵野大学人間関係学部教授）

大学進学率の向上により、多様化する学生の入学とともに、特別なニーズを持った学生に対する支援体制の充実が求められています。そこで、辻先生から発達障害の基本的な特性をご説明いただき、その学生に必要な基本的な修学支援についてご教示いただきます。また、発達障害をもつ学生と周りの学生が共に学び、成長できる大学の環境をどのように整備していけばよいのかご意見をいただきます。

### 3. コーヒーブレイク (15:45～16:25)

この時間を利用し、16:25からのディスカッションに向けて、参加者同士でパネリストの意見発表の内容について意見交換及び情報交換を行う予定です。詳細は当日ご案内いたします。

### 4. ディスカッション

パネリストの意見発表の内容について、パネリスト間、パネリストと参加者で意見交換を行います。

## . スケジュール (予定)

時間帯	分	プログラム等	
12:30～13:00	30	受付	
13:00～13:05	5	開会挨拶	
13:05～14:05	60	基調報告	「学生の傾向から見たこれからの学生支援 - 第13回学生生活実態調査から (仮題)」 松尾 哲矢 氏 (私大連盟学生生活実態調査分科会長・ 立教大学コミュニティ福祉学部長)
14:05～14:15	10	小休憩	
14:15～14:45	30	意見発表	「社会情勢を反映した経済支援 上智大学の奨学金制度 (仮題)」 増田 祐志 氏 (上智大学学生総務担当副学長)
14:45～15:15	30		「学生の成長を促す人材育成をめざして キャリア教育の推進 (仮題)」 安田 俊一 氏 (松山大学副学長)
15:15～15:45	30		「充実した大学生活を送るために 発達障害学生に対する修学支援 (仮題)」 辻 恵介 氏 (武蔵野大学人間関係学部教授)
15:45～16:30	45	コーヒーブレイク (福岡大学病院新館地下1階「多目的室」)	
16:30～17:30	60	ディスカッション	

## 会場への交通案内：福岡大学病院 福大メディカルホール（福岡大学病院新診療棟）

### 【地下鉄をご利用の方】

地下鉄七隈線「福大前駅」下車、徒歩1分です。改札口を出て右手(2番出口)福岡大学病院方面にお進みください。

\*午前中のキャンパス見学に参加される方は、改札口を出て左手の1番出口をご利用ください。

- ・ 「天神南駅」からご乗車の場合（所要時間 約16分）
- ・ 「橋本駅」からご乗車の場合（所要時間 約8分）
- ・ 「福岡空港」、「博多駅」からの場合、地下鉄空港線「天神駅」で乗り換えです。天神地下街を通過して(徒歩約8分)、七隈線「天神南駅」からご乗車ください。

### 【バスをご利用の方】

西鉄バス「福大病院」または「福大正門前」バス停で下車してください。

天神から（所要時間 約30分）

- ・ 天神警固神社前三越前から、14番、114番のバスにご乗車ください(福大病院下車)。
- ・ 天神協和ビル前（10）乗り場、あるいは天神福ビル前（12）乗り場からの場合、12番かエコルライナー(福大正門前、下車)、140番(福大病院、下車)をご利用ください。

博多駅から（所要時間 約40分）

- ・ 博多駅前バス停(A)から、エコルライナー(福大正門前、下車)。
- ・ 博多バスターミナル1階(3)(4)乗り場から、12番(福大正門、下車)、または114番(福大病院、下車)のバスにご乗車ください。

六本松・別府2丁目バス停から（所要時間 約15分）

12番、14番、114番、140番のバスにご乗車ください。

西新から（所要時間 約30分）

脇山口バス停から、95番の福大病院経由のバスにご乗車ください。





日本私立大学連盟

## 「教育立国」日本の再構築

平成23年度 私立大学フォーラム（第4回：大阪会場）

### 「日本の持続的発展を支える私立大学のあり方」

#### 平成23年度 私大フォーラムの開催目的

日本の学部学生の約8割が学ぶ私立大学は、日本の高等教育の基盤を担っている。それぞれの私立大学は、建学の精神のもと、地域の人材養成を担い、また日本の国際的地位向上に努める教育・研究に携わるなど、幅広い社会の負託に応えるべく独自の活動を繰り広げてきた。しかしながら、昨今、高等教育を取り巻く環境は、急激に変化し、ユニバーサル化、グローバル化、社会情勢の多様化等への対応が求められている。さらに3月11日に発生した東日本大震災からの日本の復興・再生を考えると、私立大学全体がミッションを共有し、各大学の個性・特色が有効に発揮できる仕組みを考える必要がある。

本年度の私立大学フォーラムでは、「『教育立国』日本の再構築」のグランドテーマを掲げ、危機的状況の日本で私立大学がどのような役割を果たすべきかについて、様々な視点から議論し、これからの私立大学のあり方を提示する。

#### 「日本の持続的発展を支える私立大学のあり方」（第4回：大阪会場）開催趣旨

私立大学は地域社会の拠点となり、地域社会の活性化の推進を担う極めて重要な社会基盤の形成を果たしてきた。また、今年3月11日に発生した東日本大震災では、様々な大学が地域の拠点となり、地域の情報を集約・共有し、支援を必要とする人とボランティアをつなぐ取り組みが展開された。

私立大学は、わが国の復興・再生のために、日本社会の持続的発展をどのように支えていくのかを考えることが喫緊の課題となっている。そこで、第4回大阪会場では、私立大学がこれまでに蓄積してきた知的・人的資源の重要性を改めて認識し、これからの私立大学のあり方を考える。また、私立大学が地域社会、企業との繋がりを一層強化するためにどのような意識をもって連携を図っていけばよいのかを討議する機会とする。

開催日時： 平成23年11月19日（土）【受付】12:30～

【意見発表・ディスカッション】 13:00～17:00

【名刺交換会】17:10～

会場： 関西大学 千里山キャンパス「千里ホールA（第1学舎1号館内）」 最終頁参照

所在地： 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

参加対象： 加盟大学教職員、国公私立大学関係者 等

参加費： 無料

参加申込期日：平成23年11月11日（金）

（ フォーラムに関するお問い合わせ先： 社団法人日本私立大学連盟 企画政策担当 ）

電話番号：03-3262-4362 メールアドレス：forum11@shidaiaren.or.jp

## ・運営方法

(敬称略)

司 会・コーディネーター 新 井 泰 彦 (広報・情報部門会議 (フォーラム) 委員長、関西大学学長補佐)

### <第1部> 特別基調講演

「これからの時代に必要な人材とは (仮題)」

講演者：入 江 誠 (ダイハツ工業株式会社 執行役員)

日本で最も歴史の長い量産車メーカーであり、軽自動車のトップメーカーであるダイハツ工業株式会社は、更なる技術向上と環境に配慮した車づくりを推進し、お客様に喜ばれる企業として、社会から大きな信頼を得ています。社会・経済情勢が急激に変化するグローバル化の時代にあって、海外市場の開拓にも力を入れている同社の視点から、これからの時代に必要な人材をどのように考え、そして、社会に人材を送り出す大学の機能や役割をどのように感じているのかについて、ご講演をいただきます。

### <第2部> 「日本の持続的発展を支える私立大学のあり方」

1. 開催趣旨説明： 新 井 泰 彦 (広報・情報部門会議 (フォーラム) 委員長、関西大学学長補佐)

2. 意見発表

「私立大学が新たに取り組むべき課題とは」

パネリスト：井 上 琢 智 (関西学院大学学長)

震災で厳しさが増す日本社会において、地域社会における私立大学の存在意義やこれからの私立大学のあり方が大きく問われています。そこで、阪神淡路大震災を乗り越え、2009年を起点として10年後を見据えた「新基本構想」を策定し、積極的な大学改革を進めている関西学院大学学長の井上先生から、私立大学が日本社会の復興・再生をリードするために、担うべき新たな役割とは何か、取り組むべき課題は何か、ご意見いただきます。

「企業からみた大学の可能性 (仮題)」

パネリスト：渡 邊 幸 義 (株式会社アイエスエフネット代表取締役社長)

アイエスエフネットでは、働くことに制限があると考えられていた方々に雇用場を創出し、社会参加を支援しています。そこで、時代の流れを端的に反映した企業理念をお持ちである渡邊様から、社会に人材を輩出する大学に何を期待しているのか、ご意見をいただきます。また、今後、大学と企業が連携を強化することによって、社会にどのような貢献ができるのか、そのためには大学はどのような意識を持つべきなのかお話しいただきます。

「地域社会で大学ができること 震災の経験を踏まえて (仮題)」

パネリスト：若 月 昇 (石巻専修大学 大学開放センター長、理工学部教授)

教育の多様性を担う私立大学は、それぞれの建学の精神のもと地域社会のニーズに即した教育を行っています。3月11日、震災が発生し地域社会の機能が麻痺している中、石巻専修大学では、被災者の受け入れ、学内施設を市役所や病院、ボランティアセンターに提供するなど、ハードウェアを生かした地域貢献を行い、これまで以上に私立大学の役割を発揮されました。これからの私立大学には震災で弱体化した地域社会を支える有為な人材の育成が求められており、震災の経験を踏まえ、これからの私立大学の役割や果たすべき使命についてお考えをお話しいただきます。

### 3. コーヒーブレイク (15:35 ~ 15:55)

この時間を利用し、15:55からのディスカッションに向けて、参加者同士でパネリストの意見発表の内容について意見交換及び情報交換を行う予定です。詳細は当日ご案内いたします。

### 4. ディスカッション

パネリストの意見発表の内容について、パネリスト間、パネリストと参加者で意見交換を行います。

### . スケジュール (予定)

時間帯等	分	プログラム等	
12:30 ~ 13:00	30	受付	
第1部：特別基調講演			
13:00 ~ 13:05	5	開会挨拶	
13:05 ~ 13:55	50	特別基調講演	「これからの時代に必要な人材とは (仮題)」 入江 誠 氏 (ダイハツ工業株式会社執行役員)
13:55 ~ 14:05	10	小休憩	
第2部：「日本の持続的発展を支える私立大学のあり方」			
14:05 ~ 14:20	15	開催趣旨説明	新井 泰彦 (私大連盟広報・情報部門会議 (フォーラム) 委員長、関西大学学長補佐)
14:20 ~ 14:45	25	意見発表	「私立大学が新たに取り組むべき課題とは」 井上 琢智 氏 (関西学院大学学長)
14:45 ~ 15:10	25		「企業からみた大学の可能性 (仮題)」 渡邊 幸義 氏 (株アイエスエフネット代表取締役社長)
15:10 ~ 15:35	25		「日本社会で大学ができること 震災の経験を踏まえて (仮題)」 若月 昇 氏 (石巻専修大学大学開放センター長、理工学部教授)
15:35 ~ 15:55	20	コーヒーブレイク	
15:55 ~ 17:00	65	ディスカッション	
	10	移動	
17:10 ~ 18:10	60	名刺交換会	

## 会場への交通案内：関西大学 千里山キャンパス

### ■ 大阪(梅田)からのアクセス

阪急電鉄「梅田」駅から、千里線「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、徒歩約5分。または京都「河原町」行(通勤特急を除く)で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

### ■ 京都(河原町)からのアクセス

阪急電鉄「梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、徒歩約5分。

### ■ 地下鉄利用のアクセス

地下鉄堺筋線(阪急電鉄千里線に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

### ■ 新幹線「新大阪」駅からのアクセス

○地下鉄および阪急電鉄利用の場合

JR「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「なかもず」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、徒歩約5分。

○JR利用の場合

JR「新大阪」駅から、JR京都線(東海道本線)「京都」方面行(快速・新快速を除く)で「吹田」駅下車(この間約5分)の後、阪急バス「JR吹田北口」停留所から「関西大学」停留所下車(この間約7分・25分間隔で運行)、徒歩約7分。

### ■ JR京都線(東海道本線)利用のアクセス

JR「吹田」駅下車の後、阪急バス「JR吹田北口」停留所から「関西大学」停留所下車(この間約7分・25分間隔で運行)、徒歩約7分。

### ■ 大阪(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、徒歩約5分。



## キャンパスマップ

